

誰もが安心して暮らせる町づくりをめざして

名北福祉会 広報誌

2021 9 Sep No.55

みんなの夢

2021年9月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人名北福祉会

発行人／黒川 富子

〒462-0807 名古屋市北区御成通3-20-4 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>

朝の身支度
友の家ホーム



みんなで音楽活動中
わくわく安井の家



年が離れていても仲良し
めいほく 嶋岡の家



みんなで工作
のびのびクラブ



たくさんの笑顔に
支えられています



リビングで
団らん
町北ホーム

みんな
笑っています
めいほく
共同作業所

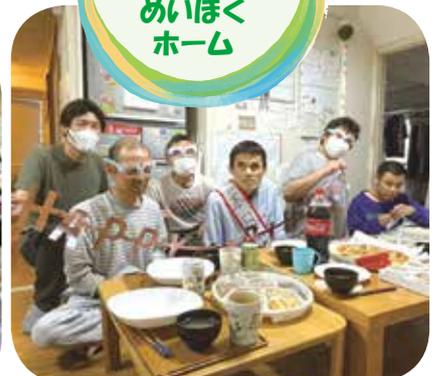


佃煮寄贈
ありがとう
仕事頑張るぞ
めいほく
友の家



ピザが
楽しみだね

めいほく
ホーム





二〇二〇年度は、新型コロナウイルスから、障がいのある仲間、家族、職員の、いのちと暮らしを守り抜くことが課題でした。とりわけ障害のある仲間や家族にとっては、窮屈な生活を強いられ、ストレスの高まることも多い1年でした。

障がい部では、感染防止備品の調達、その実施、発生時のマニュアルやBCP（事業継続計画）のタイムラインづくりもしました。結果、障がい部では感染者・濃厚接触者の発生をかなり抑えこむことができました。それは仲間・家族・職員の努力の賜物と感じています。

町北ホームゆうやけの開所、地域生活支援拠点事業、くらしの場の再編も実施しました。わくわく安井の家の隣地・建物の取得もしました。大きく改善できたこともありましたが、財政的な課題や、人材確保・育成課題、ホーム住み替えなどの課題も浮き彫りになりました。

二〇二一年度は人材確保・育成、財政健全化、第五次中長期計画の策定、日中事業所の機能分化をめざします。また、友の家ホーム「にほ」（仮称）の建設を進めていく年です。新型コロナウイルスに負けず、元気と笑顔があふれる障がい部にしていききたいと考えています。

コロナに負けずに ALLL鳩岡でがんばろう！

めいほく鳩岡の家

昨年、カフェは1年近く営業休止、内職作業は無くなり当たり前の鳩岡の日常が無くなってしまいました。また仕事後のレクリエーションも月のカラオケも全体活動は禁止で分割グループで実施、楽しみにしていた遠足も中止になり、仲間にとっては我慢の多い1

年でした。そんな中で不安になる仲間も増え、職員は日々の変化に追われ途方に暮れてしまうこともありました。しかし、職員集団やご家族と一緒に話し合い、コロナ時代の活動を作っていく中で、マスキの出来なかつたカフェの仲間がマスクをつけられるようになり、新しい内職の仕



事にチャレンジしたり、仲間の力を発見できた1年でもありました。ピンチの中で見つけたALLL鳩岡の力を信じて今年もチャレンジしていきます。

仲間の暮らしづくり

めいほくホーム

今年は、暮らしの場再編を経て、新しいメンバーでの暮らしが2年目となります。

旧「未来」の仲間たちは昨年に



引き続き、新天地の新守山にてコロナ禍での暮らしとなっています。安全を考えると外出は近所のアピタか、なるべくインドアでということが多くなります。なんとかここまで予防できたから、みんなでワクチン接種をして、改めて自由



今年度は自粛してきた活動が少しでも再開できるよつにと思えます。みんなで出かけたり、おやつ

工夫した楽しみを

めいほく友の家

な暮らしを進めていきたいところです。
ご家庭や本人さんの状況によって、新たに365日ホームで過ごす方が増えています。たとえ人生の中でいろんな変化があっても、安心して仲間とその家族が暮らしをいけることを願います。人が集まり育ちあえる職員集団づくりを大切にしながら、仲間とともに豊かな地域生活を育んでいきたいと思えます

作りなど当たり前にできていたことが取り戻せたらどんなに良いか。完全にコロナ禍から解放されなかったことが、コロナ禍で工夫も大丈夫なことだったんだ。」という気づきもありました。諦めなければならぬ活動がある一方で新しく生まれた活動もあります。今年度もさらに発想の転換や知恵を出し合って楽しい活動をしていきたいと思えます。

また、昨年度隣接する土地を購入入ってきたことで、重度心身障害の方々に対応し得る新たなグループホームへの期待が一気に高まりました。みんなが一步一步夢の実現に向けて進んでいきたいと思えます。

のびのびクラブでの

居場所作り!

のびのびクラブ

今年度より、新しい子どもたちがとてもたくさん通っています。学年・興味のあること・あそび



方：いろいろな面で、今までとは全く違った新しい風が吹き始めています。

まずは好きなあそびを見つけて楽しく通えることを目標にし、友だちや職員と思いつきりあそぶことを大切にしています。今まで通っている子どもたちも、新しい環境に不安になることのないように過ごしていけるよう、日々職員間で話し合いをしています。

活動については、どうしても密を避けることができないために引き続き制限されてしまっているものもあります。その代わりに新しく楽しめるものを子どもたちと一緒に考えたりもし、編み出していることと試行錯誤中です。

楽しめる活動づくり

わくわく安井の家

今年も昨年に引き続き、コロナで制限がある中でも健康で充実した日々を過ごしていけるよう、仲間の皆さんの願いを原点にして、創意工夫をしながら上半期の活動を取り組んできました。

天気の良い日はわくわくのご近所をぐるりと「ミニ散歩」。夏には前日に準備しておいた氷で「かき氷」。ちぎった紙を風船に貼り付けて「ピニャータ（メキシコの



お祭りで使うくす玉」作り。簡易缶つぶし機を使って一人ずつ順番に自分のペースで「アルミ缶つぶし」。制限はある中ですが日々の積み重ねの中で自信を持って取り組む姿も見られています。

仲間の皆さんがそれぞれに力を発揮でき「またしたい！」と思ってもらえるような活動を下半期も行っていきたいと思います。

2年目のスタート

町北ホームゆうやけ

コロナ禍の中で開所をしたゆうやけも今年の4月で2年目を迎えました。初めてホームに入った仲間も他のホームから引越しをした仲間も



新たな生活の中で1年を過ぎ過ぎてきました。何かと制限の多い生活が

続いていますが、仲間たちは職員と一緒に自分らしいホーム生活を築いています。自分でできる事は自分でやりながら、難しいことは職員の支援をうけながら、ということを大切にしてきました。洗濯を一人でできるようになった仲間は、「洗濯できるようになったらお母さん喜ぶかなあ」と自分でできた喜びを家族に伝えたい気持ちもでてきました。

これからも仲間・家族の皆さん、職員がゆうやけで生活ができて良かったと思えるような暮らしを作っていきたいと思います。

工夫を重ねて

めいほく共同作業所

まだまだ終息の見えないコロナ。自粛などの制限される生活も1年半が過ぎました。そのような状況下でも、仲間たちは「負けない思い」を持っていきます。「仕事がしたい」「給料がほしい」「外食に行きたい」「ダンスを踊りたい」：仲間たちには素直な思いがあるからこそ、持



ち続けることができるのだと思います。クッキーの仕事では行事用や毎年行うボーナス取り組み(学校や団体への注文販売活動)で注文をもらい、レク活動では散歩は少人数で、おやつ作りはできないけれど創作活動で、他の作業所の仲間とは会えないけどズーム交流で：そのように何とか工夫しながら、元気に笑顔で活動していると思います。

新入居者を迎えて

友の家ホームいっぽ

今年度より新しく入居された方が1名増えました。新しく入居された方には、住環

境(ご飯の時間や、入浴の時間や順番など)慣れていただくことが多いので、自宅からホームへの移行期間をしっかりと作り、自分の生活リズムを作っていただけのように配慮した援助体制をとってきました。

また、これまでも入居されていた方においては、コロナ禍による新しい生活様式を取り入れ、換気に注意し、密を避けるのリビングでの過ごし方や外出時には、人込みを避け、公園などの散歩を取り入れるなど、新しい余暇の過ごし方など、基本的な感染防止対策を行いながら、制限がある中で、その時の環境にあった、暮らしの場づくりを作り上げていく1年になりそうです。





地域の灯台となるような 保育園を

めいほく保育園

1歳児からの異年齢保育はまだまだ試行錯誤ですが、めいほく保育園ではあたりまえの生活や遊びをすすめることができるようになってきました。5歳児の子どもたちも「今日はひよこさんについてみたい!」とお部屋を超えての保育交流があります。

小さい子どもとかかわりたい年長さん「あつ? Mちゃん歯がはえてきたね」と腹ばいになりなが

今年度も、新型コロナウイルスの感染対策をしつつ、子どもたちがたっぷり遊び安心して生活していることを大事にしています。子どもの「今」は今しかない。体をたくさん使い散歩や自然に触れて遊ぶこと、食育活動など、大好きな友達と一緒に様々な体験していくことはコロナ禍の中でも手放さず、工夫しながら取り組んでいます。たくさんさんの父母が集まる保育の行事はなかなかできませんが、その中でも、日々の営みの中の子どもたちの姿を父母に伝え、一緒に子育てをして

いくことを大事にしたいと思っています。保育の質の向上には、職員研修などの人材育成と、働き続けられる条件の向上、そのためには貧弱な職員配置基準や面積基準の改善の運動が必要です。前半期は、オンラインを活用して保育部でわらべ歌や集団遊びの研修を行いました。夏には広島開催の全国保育団体合同研究会にオンラインで参加しみんなで学びあいました。学びを力に、秋の保育制度改善を求める署名に取り組んでいきます。

ら、小さい子どもたちの成長を伝えてくれます。

卒園児の保護者からは学校での出来事での相談もあります。話をきいたり、いっしょに考えあったりすることも増えてきました。また、卒園児がとなりの公園で遊んでいる時に、ふらりと「トイレ貸してください!」と気軽にやってきました。給食室のカウンターの前でお茶を一口飲んでほっとしている姿がほほえましく、お部屋にいくといっしょに生活を共にしてきた子どもたちの歓迎をうけたり、なじんで遊ぶ姿も誇らしげです。卒園してもずっと仲間である

ことと卒園しても帰ってくる場所があり、異年齢保育をとりくんできて良かったと思います。

コロナ禍のなか、仕事も厳しい



保護者の姿もあります。

今後とも励ましあえるようなつながりと地域の方に頼りにされる灯台となるようなめいほく保育園になっていきたいと思っています。

豊かな生活と

あそびの充実を

なえしる保育園

なえしる保育園では昨年同様、行事の取り組み方を考え直しています。保育士や親同士のかかわりや、つながりもコロナ禍で少なくなっていることに考える日々です。卒園児がきていた行事を縮小



したことで会える機会が減りました。しかし、卒園児の「10歳の会は時期を延期して行いました。久々に会った仲間たち、初めはぎこちない感じでしたが「鬼ごっこしたい、花いちもんめ!」と保育園時代に夢中になっていた遊びでつながります。保育園時代に遊び、生活を共にしてきたことが今につながっていることを実感しました。

子どもの成長を見通し、乳幼児時期こそ仲間とともに生活し遊び込む事にとりくんでいけたらと感じています。

子どもも大人も、居心地の良い場所づくりを

めだか保育園

先日、2年生になったNちゃんが、お母さんと遊びに来ました。

「どんぐりのお部屋」の子ども達には「Nちゃんだ!」と目を輝かせています。N「絵本持ってきたよ。お部屋に入ってもいい?」と、入るが早いか異年齢で一緒に過ごしたみんなに囲まれました。年中のHくんは飛びつくように抱きついて離れません。「ケンカばかりしてたのに…。大好きだよね。」当時、忙しそうだったお母さんも嬉しそう。久しぶりの再会に、心が温かくなり、いつでも戻って来れる場所があるっていいな…と感じた瞬間でした。

めだか保育園も、5年目を迎えました。私たちは、保育を子どもと一緒に楽しみ、子どもの姿から



感じ取ったことを語れる職員集団を目指します。父母の思いにも寄り添えるよう、日々の保育を使い言葉で伝え、子どもも大人もなんでも言い合える居心地の良い保育園作りができるよう努めていきたいと思えます。

コロナ禍でもできることを 保護者とともに

第一めいほく保育園

昨年度は、懇談会も時間で行って半分ずつの人数で行ったり、運動会もおへやごとで行うなど密を避けて行ってきました。開催で



りました。

そこでzoomで交流会を企画しました。「お家で遊んでいるおもちや交流」をテーマに行ったところ9家庭の参加があり、「子どもが『このおもちやを見たい』と準備して楽しみにしていた『職員の趣味の話を知りたい、普段できかない話ができ、楽しかった』と大変好評でした。あたり前のことですが、マスクをとった顔を初めて拝見し、感動しました。第二弾の要望も高いので企画していきたいです。

きたことはよかったです。おさえつ、「やっぱり、他のおへやの人とも交流したかった」の声もあ



くさのみの継続を願って

西部医療センター

くさのみ保育所

コロナ禍の中でも、延長・24時間・病後児保育、そして、0歳児中心の途中入所と大忙しのくさのみ保育所です。

昨年、3回目の入札で、委託金の増額を実現しました。この間の保育所の運営の現状を病院に伝えてきた事が増額につながったのではないかと思っています。しかし、様々な保育に対して、保育体制を



とすることは厳しい状況です。その中でも、「くさのみがいい」「よくやってもらってるありがたい」とコロナ禍の中でも医療現場で日夜働いている保護者の励ましに比べられるように保育づくりに職員一丸となつて頑張っています。そして、次回の公募は、「契約変更」に変えて頂けるよう、10年の実績を生かして、保護者と共に声をあげていきます。

食を通して生きる力を

やだ保育園

今年「食を通して生きる力」をテーマに食の取り組みを行っています。コロナ禍は続きますが、食べ物での感染リスクは低いと学び、クッキングもしています。

前半は園の畑で採れたキャベツや玉ねぎで、子どもたちでメニューを考え料理したり、夏野菜を栽培し収穫したての野菜をお部屋で食べたりしました。野菜の育つ様子を観察画にしているお部屋もありました。梅シロップや梅干しづくりは出来上がりまで時間を



かけて待ちました。3月に作ったお味噌が出来上がる秋にはOBの1年生を招待したいと思っています。台所では、3大栄養素の食材パネルを、毎日の献立に合わせ掲示し始めました。乳児は、はがして食べる真似を、幼児は「栄養」を意識する姿もあります。引き続き「食」を楽しんでいきます。

たのしい保育園生活を

めいほくつぼみ保育室

進級児4人に新入園児6人が加わって1、2歳児10人で今年度は、スタートしました。

初めての集団生活で泣けてしまっていた子どもたちも「散歩に行こうか」が楽しみになつて少しずつ慣れてきました。

6月連携園のめいほく保育園の園庭を借りて、何度かどろんこ遊びを楽しみました。土のサラサラに水が入りはじめてのドロドロの感触に戸惑う子や泥水の上を勢いよくハイハイで動きだす子など。楽しんでる様子をみて少しずつ近づき、最後は泥や泥水の中へ。入ってみると泥の感触に笑顔になつていました。めいほく保育園など連携園とのつながりを大切に保育づくりに取り組んでいきます。



高齢部



介護現場では換気はできても、密接、密集は避けられません。昨年度はコロナ禍で3事業所の合同行事や外出など制限されましたが、感染予防しながら、閉所することなく、いつもの生活を送ることができたことは幸いでした。在宅を支える事業所として困難ケースの支援、職員育成では各事業所ごとに全職員参加で動画研修、利用者支援検討等すすめてきました。職員採用は難しさがありました。

みなみ町福祉センター建設に向けて高齢部としても準備を進め、認知症対応型グループホームの申請、小規模多機能型居宅介護の申請も予定しています。

今年度は、新規事業に向けて、職員採用と体制の確立を目指しています。介護実践から学び、介護理念の共有を図れる職員集団作りやコロナ禍での介護の工夫と地域での取り組みも進めていきたいと考えています。

たのしく体操を！

デイサービス東町

東町では、今年度の新しい取り組みとして、理学療法士の資格を持つ職員を中心に、機能訓練を強化していきます。毎日の体操の他に、午後より週1日以上にリハビリの時間を設けています。セラバンド、ボール、タオル、棒などいろいろな用具を使う事で、利用者さんが楽しめるよう、バラエティに富んだ体操を、職員も一緒に学んできました。

介護保険では個別訓練の加算



は、デイケアのみならずデイサービスでも安定した経営を継続する為には必須要件となっている風潮

もありますが、小規模デイサービスの規模ではなかなか実施できないのが現実です。

以前から「夕方になると足が浮腫んで、靴が履けない」とか「右足と左足の太さがこんなに違うよ」などと利用者さんの声を聞くとかとあわせてあげられないかな…と辛い思いもしてきました。

初回は、皆さんの握力検査もして数か月後の変化を楽しみにすること、お馴染みの顔ぶれの中で安心して笑顔で楽しく、取り組んでいけることを大切にしていきたいと思っています。

また、第3金曜日に地域に向け



た「東町の体操教室」もコロナ禍で非常事態宣言が出ると中止しながらも35回続けています。参加者が参加者を呼び、毎回10名程度集まって下さり、今年度はヨガ体操、コグニサイズ（認知症予防）、機能訓練を提供しています。地域の皆さんの声を聞けるのは、本当に楽しいです。それがみなみ町福祉センターにつながっていきけるといいなと思っています。

利用者さんの支えになって

デイサービス町南

デイサービス町南の今年度の目標は「精一杯生きている方の支えになる」です。介護の現場で働いていると、利用者さんから「いつ死んでもいいと思っています」と



いった声が聞こえてくる事があります。一見悲観的な言葉に聞こえますが、決してそうではないと思っています。

お年寄りの方はこれまで様々な経験を重ね、現在デイサービスにいられています。「デイサービスが楽しい」と言ってきた下さいませ。時折、自身の老いや病気を実感し、不安な気持ちを漏らされる事もあります。これまで出来ていた事が出来なくなるのは、不安な事だと思えます。しかし、デイサービスでは「食器拭き」等の役割を

引き受けて力を発揮されるなど、元気な姿を見せられます。

利用者さんが「自分の家でこれまで通りの生活を続けていきたい」という思いに添えて、精一杯支えていきたいと思えます。

ここは本当に楽しいね

めいほく町南の家

コロナ禍で色々と制限される中ですが、日々の生活は穏やかに流れています。日課では食器を拭き、洗濯物畳み、配膳、花水やり、地



域だより配布等をしています。花壇づくり、家具作りなども計画中です。マスクも定着し、ロールカーテンを隔てての利用者さん同士のお喋りも楽しそうです。

今年度も利用者さんの能力を最大限に活かし、役割づくり、居場所づくりをすすめていきます。今後も在宅生活を支える事業所として、利用者さんにとって、必要な時に必要な支援が出来るよう、職員体制と学びの機会を充実させ「ここは本当に楽しいね」と言っていただける事業所を目指していきたいと思えます。

地域生活部



2020年はコロナウイルス感染が世界中にまん延し、障がい、高齢の利用者の在宅を支える対応に追われた一年でした。感染の不安から、サービスを利用制限される方、不安から自宅に閉じこもりがちになり、筋力が低下し転倒、骨折される方、「コロナうつ」になられる方など多くみえました。サービス事業所での感染報告も多くあり、在宅を支えるヘルパー、相談支援員、ケアマネは感染対策を行いながら対応に追われる毎日でした。

2020年8月に「そら事業運営プロジェクト」を立ち上げ、深刻なヘルパー不足の中、ケアマネとの連携を強化し地域で暮らす高齢者の支援を少しずつ取り組んできました。2021年度は第4次中長期計画にある、そらの特定事業所加算IIの取得に向け計画中です。又、4月から育休から復帰した職員二名も増え支援に力を入れていきたいと思えます。12月には7回目になる「初任者研修」、11月には初めての取り組みになる「高齢者日常生活支援研修」を企画。3日間の基礎研修で高齢者の生活を支える買い物、家事など支援できる人材を育て、法人のヘルパー確保を目指していきます。

支援する担い手を
増やして

ヘルパーステーションそら

第4次中長期計画 最終年度計画目標を達成していきます。

支援を必要とする高齢者・障がい児者の方々のご要望、願いに真剣に真摯に向き合って事業改善していく計画の最終年度です。昨年度より計画進捗を加速する手立てとして「そら事業運営プロジェクト」を立ち上げ、中心課題である

ヘルパー人手不足の改善に努めています。高齢者（要支援の方）に

「掃除」「買い物」「洗濯」等のお手伝いをする「日常生活支援サービス」の担い手として活動していただく方々を養成するための研修「高齢者日常生活支援研修」*参加費は無料（テキスト・資料代のみ500円）、3日間の研修*ほか介護職員初任者研修を行い、支援する担い手を増やしていきます。人手不足の時代、地域での暮らしを支えるため、他の課題（財務・業務改善）も合わせて目標達成し

サービス利用者の利益へ繋がっていきます。



信頼される相談支援へ

相談支援センターめいほく

人権と尊厳を守り、公平・中立な立場（慣れ合いを排除）で利用者家族の最善の利益を守ります。ご本人、ご家族の本当の思い、願いを親身に真摯に汲み取ることに努めます。その上で複数のサービス提供事業所、行政機関、関係者等と相談・打合せ・支援検討を積み重ねていきます。その相談支援の一つ一つをどのように積み重ねて



いくのか、相談員全員が真剣に取り組み、専門性の向上を探求していくことが問われています。その過程、姿勢、気概が言動と合わさって周りに伝播していき、信頼されるのだと思います。

権利としての福祉、地域福祉の推進者としての責務を担って繋がり、連携、チームワークを大切にしていきたいです。



感染対策を強化して

ケアプラン町南

コロナウイルス感染の中、ワクチン接種が高齢者の方、職員にもいきわたってきました。まだまだ安心できる状況ではありませんが、これからも感染対策を強化しながら高齢者の在宅を支えていきたいと思えます。

ケアプラン町南では10名の女性ケアマネが日々業務に奮闘しています。

住み慣れた地域で、自分らしく生活が送れるように、ご家族の介護負担を相談しながら親身に相談業務を行っています。と思っています。



勤続表彰

多くの職員のみなさんに永年、名北福祉会を支えていただき心より感謝いたします。

(正規職員)

30年勤続

なえしろ保育園 高柳由佳

20年勤続

めいほく保育園 柳原由起子

第二めいほく保育園 酒井恭子

11年勤続

デイサービス東町 大村環

10年勤続

第二めいほく保育園

西田マリィグレース、池田慧子

なえしろ保育園 米田知弥子

やだ保育園

岡田沙由梨、種田唯、

めだか保育園 中村洋子

くさのみ保育所

杉山照美、長尾倫子、川口智子

めいほく鳩岡の家

西山裕一、石田進

めいほく共同作業所 大橋淳子

めいほく友の家 大倉直子

(短時間職員)

30年勤続

めいほく保育園 近藤睦子

20年勤続

めいほく共同作業所

島袋久美子

10年勤続

めいほく保育園

鹿子木亜紀、安井秀子

なえしろ保育園

加藤美奈子、縣幸子

齋藤恵理子、牧野由香

宇佐見佳芳、伊藤江里

めだか保育園

村松和子、辻裕子

くさのみ保育所

浅井綾、富田登志子、藤田幸江

めいほく共同作業所 加藤豊

のびのびクラブ 星山泰守美

めいほく友の家

後藤厚子、飯田五月、森見千秋

竹花朋子、後藤彩、山中久美

ヘルパーステーションそら

西尾悦子

めいほく町南の家

野田奈桜美、大窪さち子

これから子どもたちの笑顔と共に

めいほく保育園 近藤睦子さん



めいほく保育園との出会いは、当時専業主婦だった時のテニスサークル。「めいほく保育園で職員を探しているんだけど」の声がかかり、当時園長だった黒川理事長から「近藤さんは子どもが好きですか?」ときかれ、「はい、好きです!」で翌日から働くことになりました。

30年働いて、子どもたちと我が子のように接することができたことが喜びです。中でも、障害をもった子どもたちも友だちのなかで、成長を感じることができて、人生のなかでやりがいを感じました。あつと言っ間の30年。一つひとつの子どもの通しての体験が宝物のよう。これから子どもたちの笑顔とともに元気をもらっていききたいです。

勤続表彰 30年勤続は2名の職員が表彰されました

すべてご縁でできている30年に感謝

なえしろ保育園 高柳由佳さん



私が短大生だった頃、「北区で実習ならめいほくがいよいよ」とボランティアにいった先の職員さんに紹介されました。卒業後別の園で4年間勤めました。やりたいたい保育がなかなかできない葛藤の中で転職を考え、縁あつて再びめいほく保育園に。何もかもが新鮮で子どもの事で話が尽きない保育士たち、懇談会が終われば近くのお店に行き反省会かねておつかれさま会。時には父ちゃん、母ちゃんたち

も合流して話が尽きないこと。独身だった私はそんな中で働きながら子育てをする先輩職員や母ちゃん達の姿を見て自分も子育てしながら働くことの思いを強くしました。「子どもが生まれても長く働く保育士でいてね」と励まされ、今に至ります。

民営化でなえしろに異動する時もめいほくの職員や親たちが背中を押してくれたことも忘れません。

なえしろの子どもたちや親たち、一緒に考えたり話せる職員、卒園して離れていてもつながれる子どもや親たちがいる事に幸せを感じながら、このご縁と繋がりを大事にもう少し進んで行こうと思います。

名北福祉会を支える会の会員募集 夢のある豊かなまちを共につくりましょう!!

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。支える会への加入をよろしくお願いいたします。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。

会費	正会員	1ヶ月	1口	500円 (5口以上)
	賛助会員	1ヶ年	1口	1000円
	団体会員	1ヶ年	1口	5000円

〈振込先〉

郵便振替口座

加入者名 社会福祉法人名北福祉会を支える会
口座番号 00860-8-127322

2021年度 法人事業・会計報告

事業報告会をインターネットを活用し、リモートで開催しました。

2020年度事業報告

第4次中長期計画(2017.6～2022.5)に基づきとりくんできました。

特徴的な点は、

①コロナ禍で、リモート会議、研修、行事など工夫してとりくみました。これまでのとりくみを見直した中で新たな発見がありました。

②町北ホーム(4ユニット、18名の障がい者グループホーム、2名のショートステイ)開所。ほっとできる暮らしの場となることを大事にできました。

③「みなみ町福祉センター」実現にむけて、建設委員会やプロシエクトで検討してきました。ニューズを発行して様子を知らせてきました。

らせてきました。

④働きやすい職場づくりにむけ、各分野で改善にとりくみました。

⑤法人応援団を増やしていくよう、法人だよりの発行、ホームページ充実、支える会会員呼びかけを行いました。

⑥お助けクラブ、憩いの家、認知症カフェ、子ども食堂などは中止やフードステーションに変更してきました。

2021年度 法人事業計画

〈重点課題〉

○みなみ町福祉センター建設実現

- ・小規模特養の公募がなかったため再検討し「グループホーム」で協議書を提出していく。小規模多機能事業所、地域交流センター併設で建設実現をめざす

○障がい者グループホーム友の家ホームには(仮称)の実現

○法人財政健全化をめざす

・障がい部の定員未充足、職員不足等で経営が厳しい状況の改善

○法人組織強化

・法人本部、各部、専門部(人材育成、人材確保、地域貢献、広報)の充実

○第5次中長期計画策定

・2022.6～2027.5(5年間) 計画策定にむけ委員会開催

○各施設の実践の充実

2020年度 決算について

法人全体の資産は、31・75億円、純資産は、22・67億円となり微増となりました。自己資本比率は、高いほど経営は安定性を表す数値ですが、71・4%で昨年と比較すると低くなっています。赤字改善、人材確保、新事業にむけた建設積み立てなど改善にむけ努力します。

2021年度 法人役員

*改選期により新体制となりました。

〈評議員(9名) 任期4年〉

富田 哲朗 廣瀬 洋子

田中 耕治 篠宮 雄二

塚本 正 横井 透

伊左治 真 佐尾 和彦(新)

近藤 守平(新)

〈監事(2名) 任期2年〉

山田 美重子

牧野 茂子

〈理事(8名) 任期2年〉

黒川 富子 本田 たみ代

佐藤 悦弘 伊佐治 尚美

太田 輝美 光岡 ゆかり

寺西 明美 岩橋 和裕(新)

〈評議員選任・解任委員(5名) 任期4年〉

木村 恵美

加藤 登美(新)

橋本 琴江 山田 美重子

牧野 茂子

〈運営協議会委員〉(30名)

任期2年 評議員9名・理事8名・

監事2名(含)

- 正次 正男 本田 直子(新)
- 菊田 道敏 水野 孝安(新)
- 長尾 忠昭 中尾 安男(新)
- 久田 浩一 小林 正巳(新)
- 水野 達彦 仙田 田鶴子(新)
- 真坂 一彦 高山 健司(新)
- 加藤 尚子

〈退任〉

- 評議員 小川志寿恵、戸水純江
- 理事 小林正巳
- 運営協議会委員 山本春菜、小川貴大、深谷佐智子、近藤守平
- 選任・解任委員 佐尾和彦



役員退任 おつかれさまでした

共同保育所づくりが原点

小川 志寿恵

57年間を振り返って

この度長年務めた名北福祉会の役員を退任することになりました。

25歳で長女を出産。仕事を退職し専業主婦になって1年が過ぎた頃、自宅に突然共同保育所づくりの話が飛び込んできました。

「共同保育所をつくりたいので部屋を貸してくれませんか」「貴方の子どももみて一緒に保育をやってくれませんか」と。私も子どもを育てながら働き続けたかったし、困っている人たちの力になればと保育所づくりに参加することになりました。

地域の働くお母さんたちの要求

多くの人たちの力を結集して名北共同保育所がスタート。どこからの援助もなく親と保育者は、地域の人たちから応援も受けて廃品回収や物資販売又カンパの協力で運営してきました。1973年に本山革新市政誕生で福祉行政は大きく前進し社会福祉法人の認可を受けました。

保育所づくりから出発し、障害児保育の実践、障害児学童保育所づくりへ、障害者の働く場としての共同作業所、グループホームと地域の要求はどんどん広がり、高齢者の暮らしの場づくりと大きく発展してきました。

退職後も法人役員として参加

保育園の職員として働き、退職後も法人役員として参加し今日まで頑張ってきました。

来年還暦を迎える娘は共同保育所育ちの第一期生です。現在、私は、近くに住む孫たちに声を掛けられ励まされて一人暮らしをしています。ひ孫も生まれ楽しみが増えました。

これからも地域のみなさんと仲良くし、元気にいろんな活動にも参加していきたいと思っています。長い間お世話になりました。



左より、戸水さん、小川さん、小林さん

社会福祉法人 名北福祉会 決算書

事業活動収支計算書 ～利益報告書～

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位: 千円)

	本部会計	保育園	障害	高齢	地域生活	合計
【収入の部】						
就労支援事業収益	0	0	11,806	0	0	11,806
運営費・支援費・補助金収益	8,163	888,772	604,314	176,114	145,919	1,823,283
利用料収益	0	0	0	0	0	0
寄附金収益	9,359	0	200	450	0	10,009
雑収益・受取利息他	451	3,855	10,535	1,313	32	16,187
事業収益合計	17,974	892,628	626,855	177,877	145,952	1,861,285
固定資産受贈額	0	0	0	0	0	0
借入金補助金収益(元金・利息)	0	10,311	8,891	0	0	19,202
施設間繰入金収益	45,450	6,500	85,009	3,240	4,323	144,522
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0	0	0	0
収益合計	63,424	909,439	720,754	181,117	150,275	2,025,009
【支出の部】						
就労支援事業費用	0	0	16,869	0	0	16,869
人件費支出	6,578	728,439	486,928	130,929	93,012	1,445,885
事務費支出	10,009	53,153	53,041	16,484	10,883	143,571
事業費支出	119	71,306	50,310	14,458	3,188	139,381
減価償却費	437	48,629	43,462	6,639	818	99,986
徴収不能額	0	0	0	29	0	29
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	-33,869	-22,401	-2,703	-115	-59,088
支払利息	0	2,604	2,198	0	0	4,803
その他費用	0	919	8,128	473	0	9,520
事業支出合計	17,143	871,182	638,535	166,309	107,786	1,800,956
基本金組入額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	9,602	9,154	582	533	19,871
施設間繰入金支出	2,906	54,654	26,010	12,800	48,153	144,522
固定資産売却・処分損	0	0	11	147	0	159
その他の特別損失	0	0	0	0	0	0
支出合計	20,048	935,438	673,711	179,839	156,472	1,965,507
当期活動収支差額	43,375	-25,999	47,044	1,278	-6,197	59,501
【繰越活動収支差額の部】						
前期繰越活動収支差額	238,096	230,870	221,154	76,447	34,362	800,930
積立金取崩額	0	4,184	0	0	0	4,184
積立金積立額	40,032	0	0	0	0	40,032
次期繰越活動収支差額	241,440	209,054	268,198	77,726	28,165	824,583

貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位 円)

現金預金	114,509,193	未払金	31,825,744
未収金	185,501,968	その他の流動負債	249,736,003
たな卸資産	1,603,272		
その他の流動資産	150,386,490		
流動資産合計	452,000,923	流動負債合計	281,561,747
基本財産土地	291,822,347	長期借入金	535,729,000
建物	1,581,734,168	退職給与引当金	90,375,560
法人内長期貸付金	0	法人内長期借入金	0
その他の固定資産	366,970,529	固定負債合計	626,104,560
積立預金	392,534,959	負債合計	907,666,307
退職給付引当資産	90,375,560		
固定資産合計	2,723,437,563	基本金	242,741,038
		国庫補助金等特別積立金	807,912,973
		その他の積立金	392,534,959
		次期繰越活動収支差額	824,583,209
		資本合計	2,267,772,179
資産合計	3,175,438,486	負債・資本合計	3,175,438,486

2021 年度保育の国会請願署名スタート

コロナ禍によって、保育の重要性・必要性が明らかになっていますが、一方で、コロナ禍のもとで、現在の保育環境・条件の貧しさを多くの保育者・保護者が体験することとなりました。

小学校では、40年ぶりに基準が改善され、少人数学級化が実現します。ところが、保育所の4.5歳児の職員配置基準や施設面積に関わる基準は、70年以上も一度も改善されず、国際的にみても低いまま放置されています。

質の高い保育を実現するために、基準の抜本的な改善を求めます。

署名のご協力よろしくお願ひいたします。

国が予算を確保して 保育の基準の抜本的改善を!!

保育所では
おまじりに低い保育の基準!
職員配置基準
4.5歳児加付1は有償で専任!

フランス (3歳以上)	日本 (4.5歳児)
15人に1人	30人に1人

施設基準
「広く、浅く、暖か」が明記保育室!
2歳以上は一人あたり1.96㎡
一人あたりの面積基準

フランス+10分 (3歳以上)	日本 (2歳以上)
5.5㎡	1.9㎡

小学校では
国が予算を確保して
少人数学級 (36人未満) 実現へ!
4.5歳児の職員配置 一人あたりの面積基準 70年以上改善なし

中学校では
国が予算を確保して
少人数学級 実施に向け、議論開始!

少人数学級が実現した小学校では、1学年36人の場合、各18人のクラスが2つできます。ところが、保育所では、4.5歳児を合わせて30人いても、必要な保育士は12人とされ、必要な人を配置する人員数は手立てがありません。小学校で条件改善が実現したように、乳幼児も改善に向けて、今すぐみなさん、署名!

国は「同じ保育」と言うけれど

国は「同じ保育」と言うけれど	必要な保育士は全額保育士	保育士 30%で済む	保育士 40%でも済む
----------------	--------------	------------	-------------

低すぎる保育士の給与
33万 8,000円
月給での比較 2019年

公立施設の高齢化・施設化を改善・実施する自治体は
24万 4,500円
全職種 保育士

子どもの保育に 職員が不足するのはおかしいでしょ
保育士と一緒に 働きませんか?

保育所に 入りたいの 親戚さん!

社会に必要な施設は 国が負担するの? 自治体は 責任を 果たして欲しい!

公立施設の高齢化・施設化を改善・実施する自治体は

署名のお願い

よりよい保育を! 実行委員会
連絡先: 全国保育団体連絡会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-3331

介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名にご協力を



介護保険が施行されてから20年以上が経過します。政府によるこれまで以上の負担増・サービス削減をぜったいに許さず、「介護する人」「介護を受ける人」が共に大切にされる制度への抜本的転換を図ることを求めます。みなさまのご協力をお願いいたします。

* 保育・高齢署名は同封の返信用封筒にて返送をお願いします。

名北福祉会 第7回 介護職員初任者研修

【土コース】

12月開講予定

介護や支援を必要とする人びとの生活の安定・安心、明日への希望に沿うため必要な基礎的知識と技術を習得する研修です。

募集要項

期間	令和3年 12月～令和4年 5月 (土) 全22回
研修会場	めいほく鳩岡の家 北区鳩岡町1-1-5
費用	30,000円税込 (テキスト代を含む) ※キヤッシュバック制度があります。
定員	10名(先着順)
申込	令和3年 11月受付準備中 もうしばらくお待ちください。

●問い合わせ先 ヘルパーステーションぞら
月～金 9～17時 052-910-0712 担当 岩橋

名北福祉会 で 検索

名北福祉会では各事業所で 正規職員を募集しています ぜひご応募ください

◆募集業種

保育士・生活支援員等・
介護支援相談員、介護員

◇応募から採用まで

- ①書類選考 ②実習・実地体験
③レポート提出 (400字×4枚) ④面接

◇お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人名北福祉会 人事担当

TEL052-910-3066

